



人生も事業もサクセス！



人生の企画・事業の企画

2017年08号

LC= LC × 3R × 3H × 2A × 1C × Op

人生	環境	資源	健康	行動	機会	運用
ライフ サイクル	ライフ サイクル	3つの 基礎資源	3つの 健康資源	2つの 日常行動	チャンス をモノに	運用の レベルは

3つの健康（3H）

いうまでもありませんが、健康はなによりも大切です。

■頭脳健康

ビジネスは、答えのない問題を解くことばかりです。問題解決のための企画力を高め、問題に前向きに取り組みましょう。自分自身の問題解決能力が高められれば、頭脳健康に繋がります。

■心の健康

心の健康のためには、心を豊かにすることです。また、人や会社に過度に依存せず、宗教や一つの理論などを過信しすぎず、安定した情緒を保つことです。

自分の責任を遂行し、失敗を他人に押しつけず、自分で責任をとるといった自立した精神を持つていくことが、心の健康といえるでしょう。もっとも、言ったり考えたりすることは簡単ですが、自分のことは見えないものです。時折、自分だけの静かな時間を作り、自分を見つめ直すことが肝心です。

座禅や瞑想がいいと言われるのはそのためです。

■身体健康

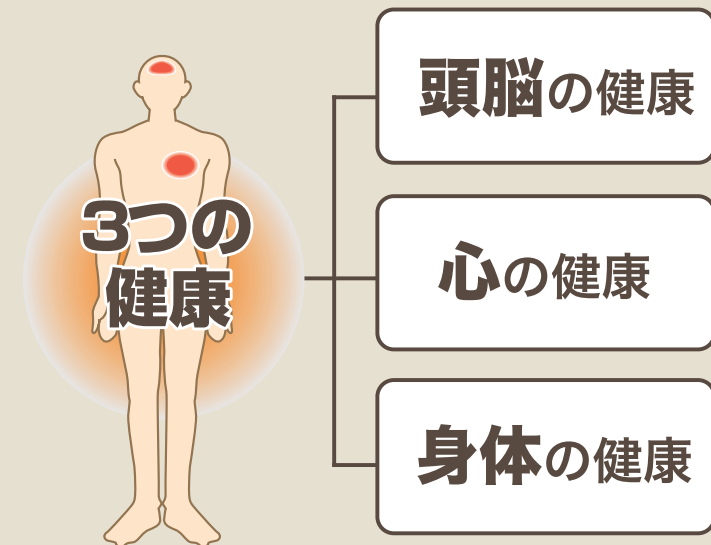
一つ健康法などを過信・依存せず、自分流で長く続けられることを身に付けましょう。たとえば、野菜を意識してとる、冷たいお酒を飲みすぎない、夜は12時までに就寝し、早寝早起きを心掛ける…など、それだけでもタフなビジネスができるものです。

病弱だからといって気落ちする必要はありません。松下幸之助氏は病弱だったことで知られていますが、逆に身体に気をつかい、結果的に無理をしないで人をお願いする術を心得た人です。そして90歳を超えての人生を全うした「人生の達人」といえる人です。

健康を過信しすぎる人は、無理をして身体を壊すことが多いようですから、気を付けましょう。

3つの健康を心がける

自分流の健康法を作ろう



2つの行動(A)と1つのチャンス(C)

■アクション (現実行動、ことに即時行動)

成功者の特性の一つに、熟慮と行動のバランスの良さがあります。

今動かねば解決しない、即刻電話をしなければコミュニケーションがとれない、というビジネスの基本中の基本を、自然に実行する傾向があります。営業でもクイックレスポンスが重要なと同じことです。

■シミュレーション (頭脳行動)

もうひとつのアクションは、現実ではなくイメージ上でのアクション、すなわちシミュレーションです。

2代目社長で成功者の場合、幼少時より帝王学を授けられているのは、まさにシミュレーションさせられているということです。

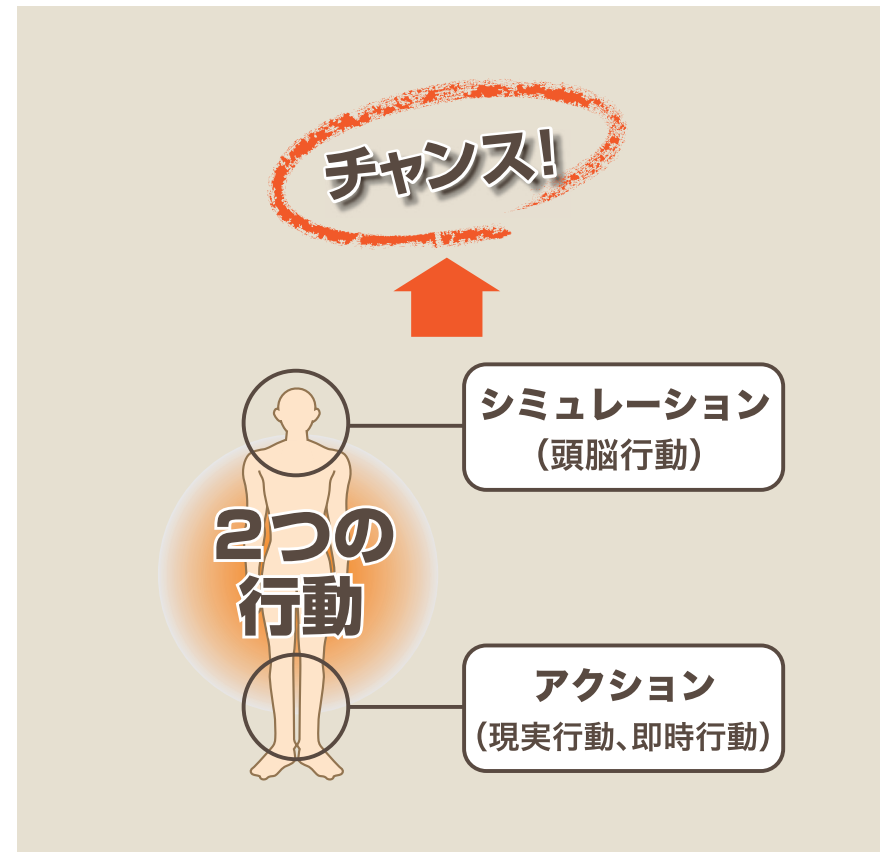
自分がステップアップした姿、夢を実現した姿を日ごろからイメージし、予測できるケースにどう対処するか(シミュレーション)を重ねることは、非常に大切です。ただし、実際の行動がともなわなければ、夢想や妄想にすぎません。

■チャンス (機会) をつかむ

「チャンスは誰にでもある、ただつかまえられなかっただけだ。」

というのは鉄鋼王カーネギーの名言です。日頃の行動と、シミュレーションが、チャンスを見極める目を養います。シミュレーションがなければ、今がチャンスかどうかを見極めることは難しく、チャンスが来たと思っても日ごろ即時行動をしていなければ、チャンスは逃げていってしまいます。

チャンスは行動しなければやってこない



運用 (Op) が大切

さて、人生のライフサイクルの最後、「運用」です。

$$LC = LC \times 3R \times 3H \times 2A \times 1C \times Op$$

環境のライフサイクル (LC = ライフサイクル) を見極め、3つの資源 (3R = 人脈、技能、資産) を着実に蓄積し、3つの健康 (3H = 頭脳・心・身体の健康) に留意し、2つの行動 (2A = 現実行動、頭脳行動) をうまくこなし、1つのチャンス (1C = 機会) をつかんでも、**運用 (Op = オペレーション)** がうまくいかなければ、すべてが無駄な努力に終わってしまいます。

お金の運用のことは世の中でよく言われますが、事業の成功も、人生の成功も運用がなければ始まりません。**人生サクセスの公式がなぜ掛け算か…、それはどれかがゼロになるとすべてがゼロになってしまうから**なのです。

たとえば、どんなに事業がうまく行っても、自分の健康がままたまらなければ継続が難しくなり、せっかくの人生成功の喜びも味わえなくなってしまいます。

また、現在好調に見える事業でも、環境や時代の変化が見極められなければ、激しい競争に巻き込まれたり、突然商売が成り立たなくなってしまうこともあります。

そうしたリスクを乗り越え、諸条件がそろい、運用が流れよく行われていけば、人生サクセスの公式は完成です。

運用とは、「物の機能をうまく生かして用いること」。

自分が得てきたものや活用できるものを上手に活かし、膨らませていくことです。運用がうまくいくと、人生サクセスの公式が高速回転し始め、さらに目標を高く持てるようになります。

たとえば人やお客様との信頼関係を保つことも運用の重要部分です。季節の

便りをかかさず出す、自分の商売や夢について継続的に発信を続ける…など、相手が自分を好意的に覚えていてくれ、相互に連絡ができ、いつでも相談や協力できる人の多い人は、人脈の運用が上手な人です。

また、技術や知識に、たえずアンテナを張り、新しい情報を得たり技術を磨くと、スキルアップの速度も加速してゆき、専門性が高まり、自分が動かなくても情報が飛び込むようになります。これは技術の運用のうまい人です。

テレビ出演や取材のチャンスにめぐりあった飲食店も、その直後は行列ができ、大繁盛となりますが、店員の対応が悪かったり、次回来店の仕組みが作られていないと、あっという間に閑古鳥が鳴くものです。これは運用下手です。

事業を成功させる人は、このようにチャンスを待ち、逃さず動き、発展させることに非常に長けています。つまり、運用上手です。

また人生の目的が、趣味や芸術、ボランティアなど、事業ではない人も、運用の大切さは変わりません。自分や身の回りの人が幸せでありつづけ、夢を実現させるために人生サクセスの公式を当てはめればよいのです。

ときおり自分を客観的に振り返り、人生サクセスの公式にある各要素のバランスがうまくとれているか…どれかに偏っていないか、そしてうまく運用できているかをチェックしてみると良いでしょう。